

令和2年度 沖縄県小児保健協会“功労賞”

公益社団法人沖縄県小児保健協会長表彰（以下「功労賞」という）は、沖縄県小児保健協会が設立40周年を記念し、平成25年に設置した。この賞は、沖縄県内で実施される乳幼児健康診査事業並びに本協会の事業推進に貢献した個人に対し、その功績をたたえ表彰する。

（1）乳幼児健康診査功労賞

安里 義秀 氏（小児科医）

本島中部を中心に、平日・休日問わず月1～2回程度乳幼児健診に協力している。また、乳幼児健診特別研究委員会の委員長として、健診データの利活用に尽力中である。

比屋根 真彦 氏（小児科医）

本島中南部を中心に、近年は月3～5回程度乳幼児健診に協力している。調整困難な日程や急な依頼にも対応し市町村の健診事業に貢献している。

與那原 エツ子 氏（歯科医師）

小児保健協会が手配する歯科医師として、離島を含む多くの市町村に協力している。宿泊を伴い調整困難な離島健診にも貢献している。

奥村 千恵子 氏（臨床検査技師）

小児保健協会が手配する検査技師として、本島中南部の三歳児健診に協力している。また長年の経験を活かしスムーズな健診運営に貢献している。

城間 恵美 氏（栄養士）

小児保健協会に栄養士の登録が少なく調整に苦慮する本島北部において、平日・休日問わず離島を含む乳幼児健診に年間を通して協力している。

島袋 純子 氏（歯科衛生士）

本島中部の市町村の健診に協力している。また新規の歯科衛生士の紹介や育成等、幅広く乳幼児健診に貢献している。

上原 由企枝 氏（看護師）

本島南部の乳児健診に月1～2回程度協力している。調整困難な日程や急な依頼にも積極的に対応し、市町村からの信頼も厚い。